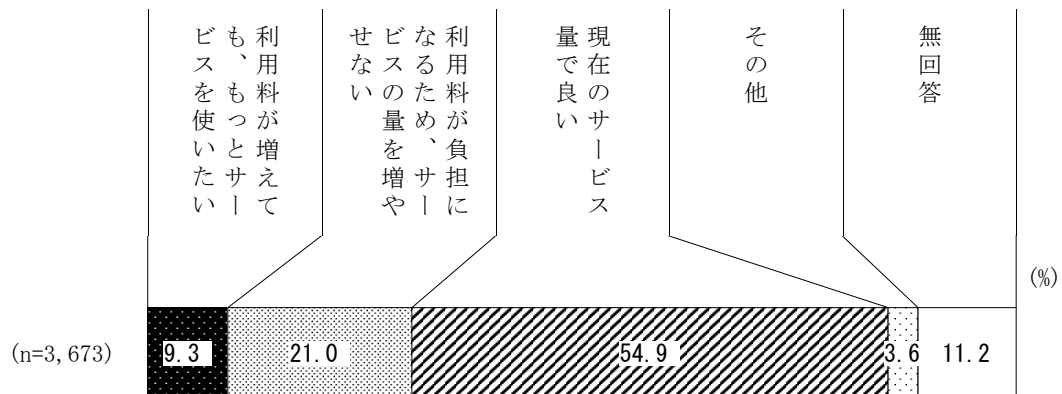


2-7 利用者負担額とサービス提供とのバランス

問14 介護保険サービスの利用者負担額（利用料）とサービス利用との関係は  
いかがですか。（○は1つ）

図2-14 利用者負担額とサービス提供とのバランス



介護保険サービスの利用者負担額とサービス提供とのバランスについては「現在のサービス量で良い」が54.9%と過半数を占めている。一方、「利用料が増えても、もっとサービスを使いたい」は9.3%、「利用料が増えるため、サービスの量を増やせない」は21.0%となっている（図2-14）。

保険料段階別にみると、「現在のサービス量で良い」はすべての段階で過半数を占めており、第4段階と第5段階で6割を超えている。「利用料が増えても、もっとサービスを使いたい」は第3段階までは1割に満たないが、段階が進むにつれて増加している。一方、「利用料が負担になるため、サービスの量を増やせない」は第3段階まででは2割前後を占めている（図2-15）。

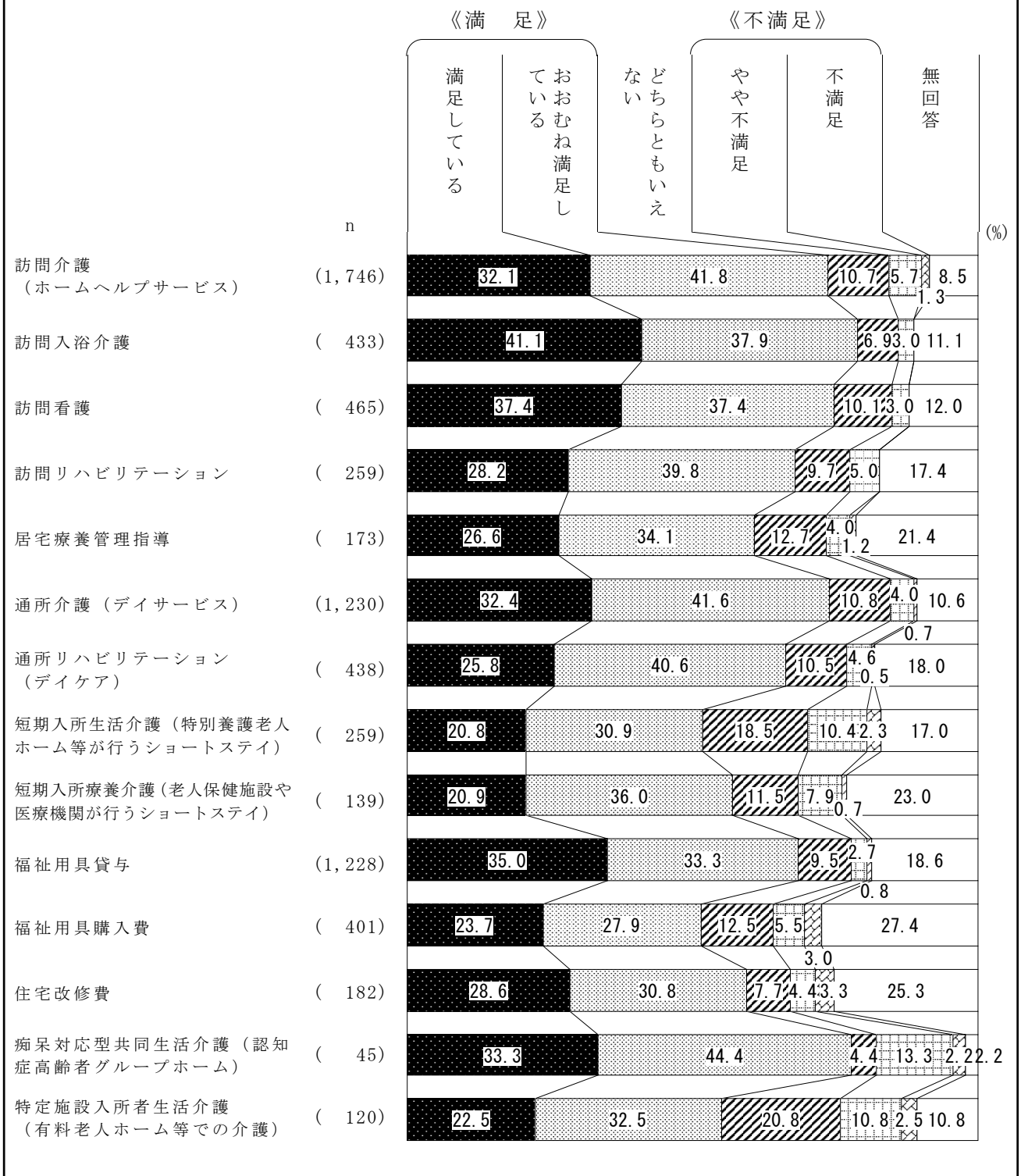
図2-15 保険料段階別 利用者負担額とサービス提供とのバランス



2-8 利用している介護保険サービスの満足度

問15 あなたは、現在利用している介護保険サービスについて、日頃どのように感じていますか。利用している介護保険サービスそれぞれについて満足度をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

図2-16 利用している介護保険サービスの満足度



利用している介護保険サービスについての満足度をみると、《満足》（「満足している」「おおむね満足している」）の高いものとしては、“訪問入浴介護”（79.0%）、“痴呆対応型共同生活介護”（77.7%）、“訪問看護”（74.8%）、“通所介護（デイサービス）”（74.0%）、“訪問介護（ホームヘルプサービス）”（73.9%）等が挙げられる。

これに対して、《不満足》（「やや不満足」「不満足」）の多いものとしては“痴呆対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）”（15.5%）、“特定施設入所者生活介護”（13.3%）、“短期入所生活介護”（12.7%）がいずれも1割を超え、やや多くなっている（図2-16）。

経年比較でみると、前回調査（平成14年）では、前々回調査（平成11年）と比較して、ほとんどの項目で《満足》の上昇がみられたが、今回調査では、前回調査（平成14年）と比較して、ほとんどの項目で《満足》は現状維持、あるいは減少となっており、特に“住宅改修費”で17.7ポイント、“短期入所生活介護（特別養護老人ホーム等が行うショートステイ）”で12.4ポイント、“特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム等での介護）”で11.7ポイントの減少が目立つ。一方、《不満足》の値をみると、“住宅改修費”、“通所リハビリテーション（デイケア）”、“痴呆対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）”で前回に比べて4～5ポイントの減少がみられる（表2-2）。

表2-2 経年比較 利用している介護保険サービスの満足度

サービス名	調査年	件数(人)	満足(%)	不満足(%)
訪問介護（ホームヘルプサービス）	平成17年（今回）	1,746	73.9	7.0
	平成14年	381	76.9	5.0
	平成11年	376	72.3	7.7
訪問入浴介護	平成17年（今回）	433	79.0	3.0
	平成14年	162	80.9	3.7
	平成11年	138	77.6	5.8
訪問看護	平成17年（今回）	465	74.8	3.0
	平成14年	174	81.0	2.9
	平成11年	166	74.1	4.8
訪問リハビリテーション	平成17年（今回）	259	68.0	5.0
	平成14年	53	67.9	3.8
	平成11年	61	67.3	8.2
居宅療養管理指導	平成17年（今回）	173	60.7	5.2
	平成14年	32	59.4	6.3
	平成11年	27	66.6	3.7

表2-2 経年比較 利用している介護保険サービスの満足度（つづき）

サービス名	調査年	件数(人)	満足(%)	不満足(%)
通所介護（デイサービス）	平成17年（今回）	1,230	74.0	4.7
	平成14年	325	78.2	3.7
	平成11年	388	76.5	5.1
通所リハビリテーション（デイケア）	平成17年（今回）	438	66.4	5.1
	平成14年	129	71.3	10.1
	平成11年	128	67.2	10.9
短期入所生活介護（特別養護老人ホーム等が行うショートステイ）	平成17年（今回）	259	51.7	12.7
	平成14年	170	64.1	14.1
	平成11年	197	54.8	21.3
短期入所療養介護（老人保健施設や医療機関が行うショートステイ）	平成17年（今回）	139	56.9	8.6
	平成14年	39	59.0	10.3
	平成11年	53	49.0	15.1
福祉用具貸与 ※平成17年調査	平成17年（今回）	1,228	68.3	3.5
福祉用具購入費 ※平成17年調査	平成17年（今回）	401	51.6	8.5
福祉用具貸与・購入費支給 ※平成11年・14年調査	平成14年	320	72.5	6.9
	平成11年	165	58.7	5.4
住宅改修費	平成17年	182	59.4	7.7
	平成14年	140	77.1	12.9
	平成11年	54	50.0	20.4
痴呆対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	平成17年	45	77.7	15.5
	平成14年	5	80.0	20.0
	平成11年	7	57.2	42.9
特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム等での介護）	平成17年	120	55.0	13.3
	平成14年	18	66.7	11.1
	平成11年	32	71.9	12.5

2-9 満足している理由

【問15で「満足している」、または、「おおむね満足している」を選んだ方におたずねします。】

問15-1 どのような点に「満足」していますか。利用している介護保険サービスそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。  
(○はいくつでも)

図2-17 満足している理由

【訪問介護（ホームヘルプサービス）】

【訪問入浴介護】

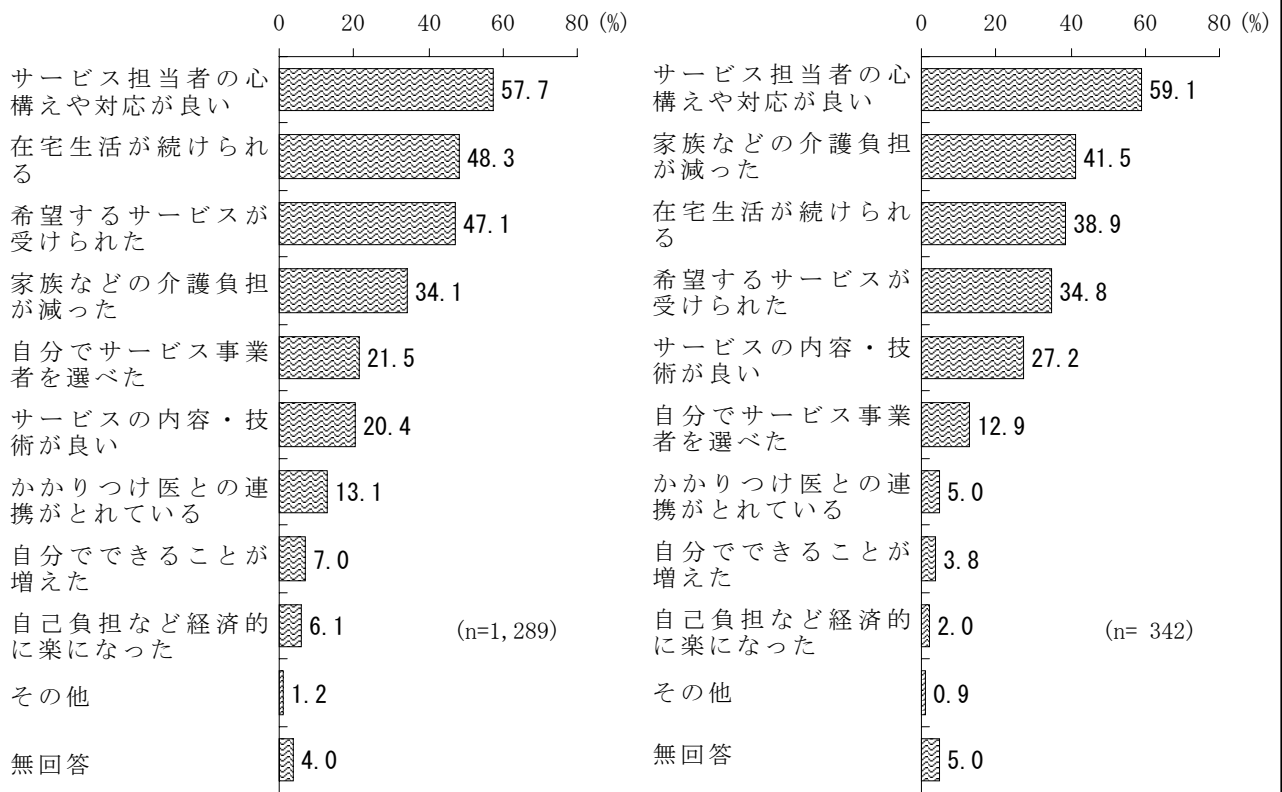
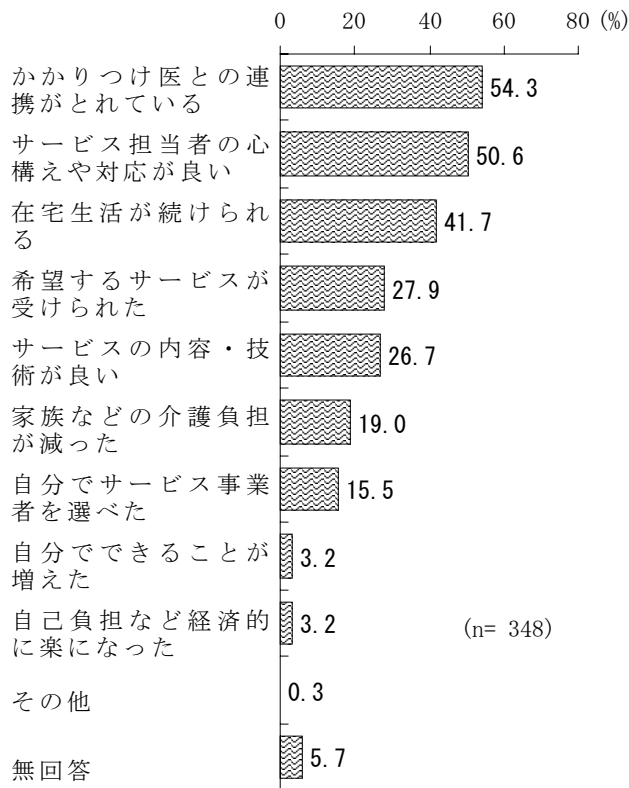
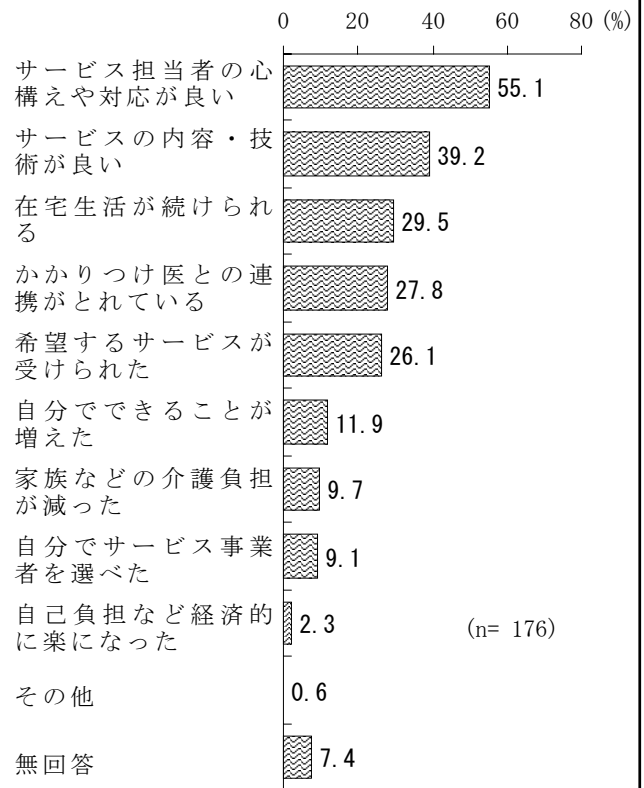


図2-17 満足している理由（つづき）

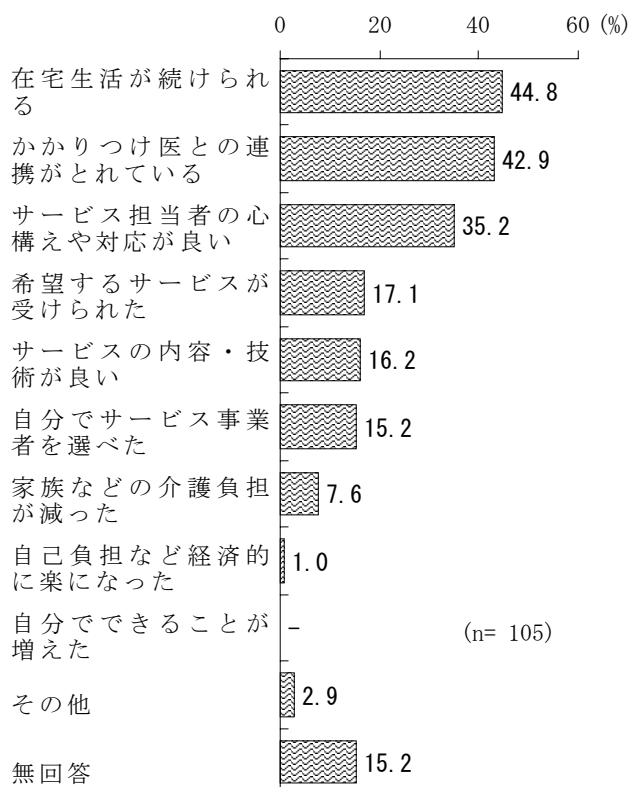
【訪問看護】



【訪問リハビリテーション】



【居宅療養管理指導】



【通所介護（デイサービス）】

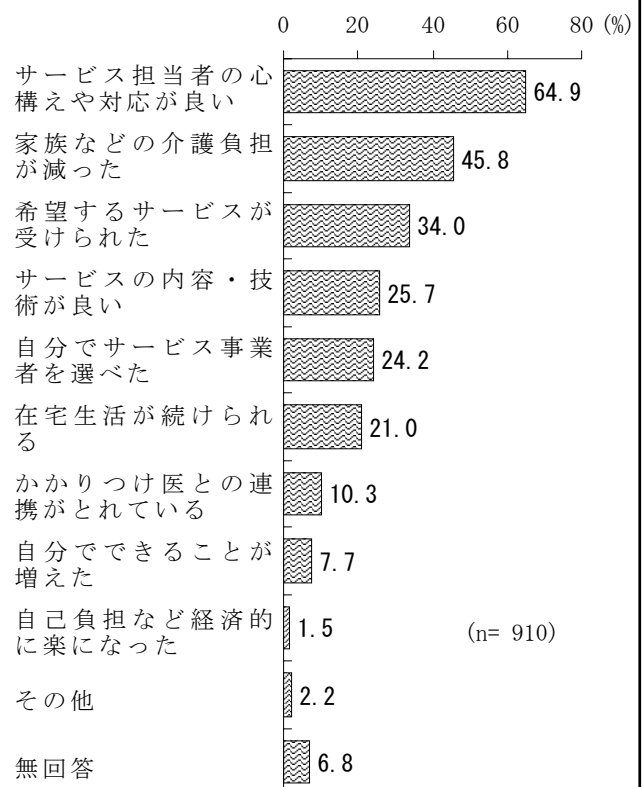
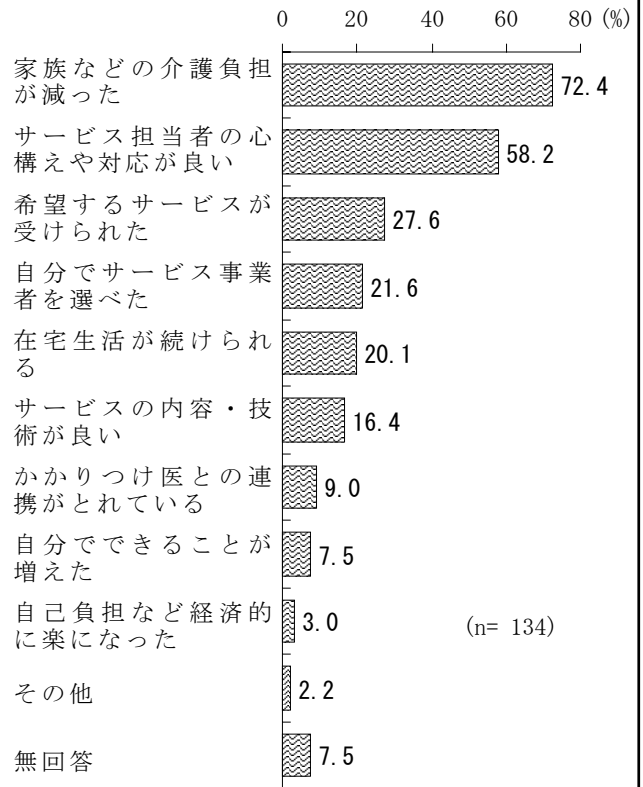
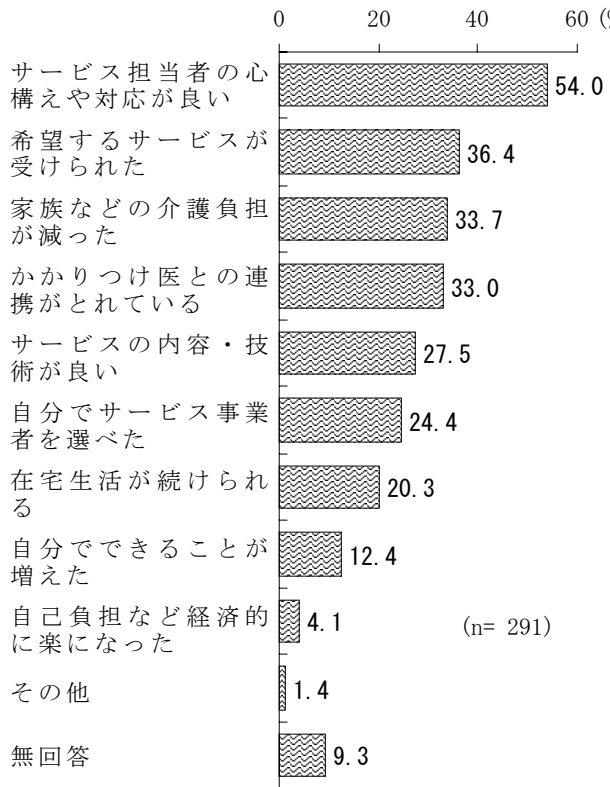


図2-17 満足している理由（つづき）

【通所リハビリテーション（デイケア）】

【短期入所生活介護】



【短期入所療養介護】

【福祉用具貸与】

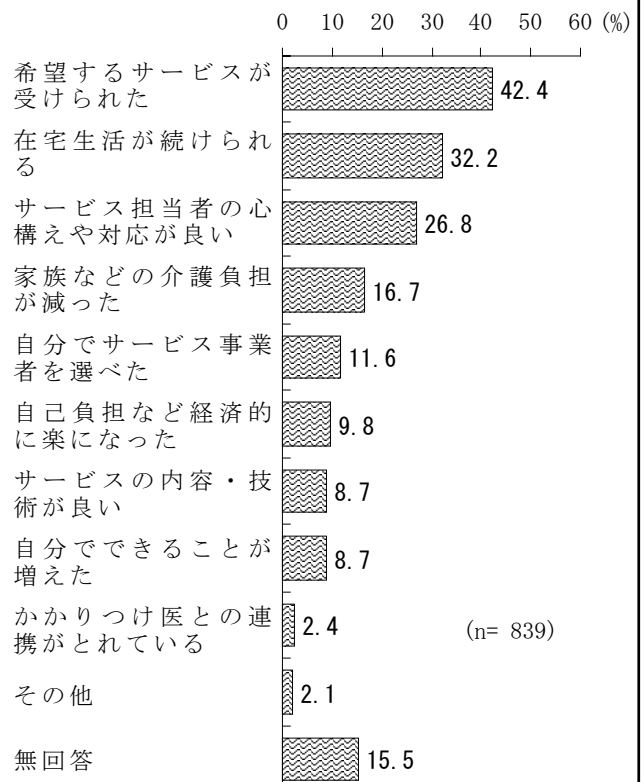
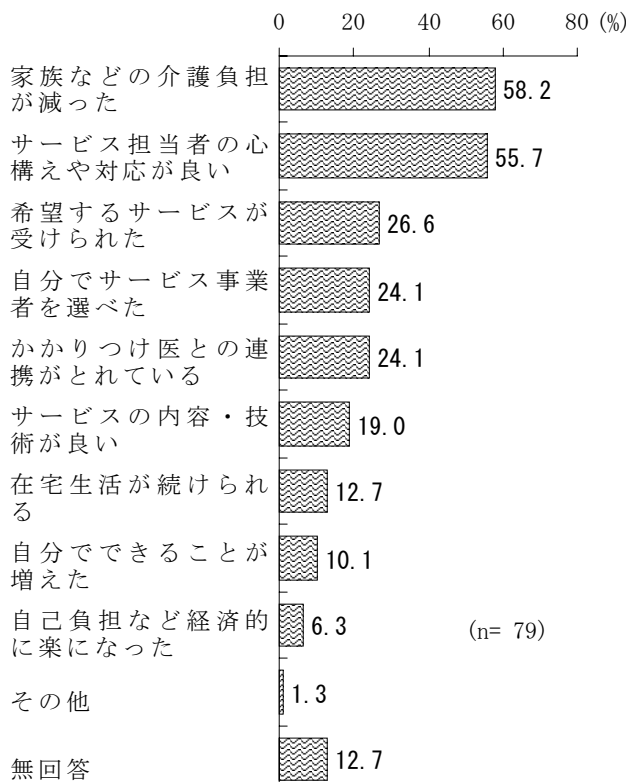
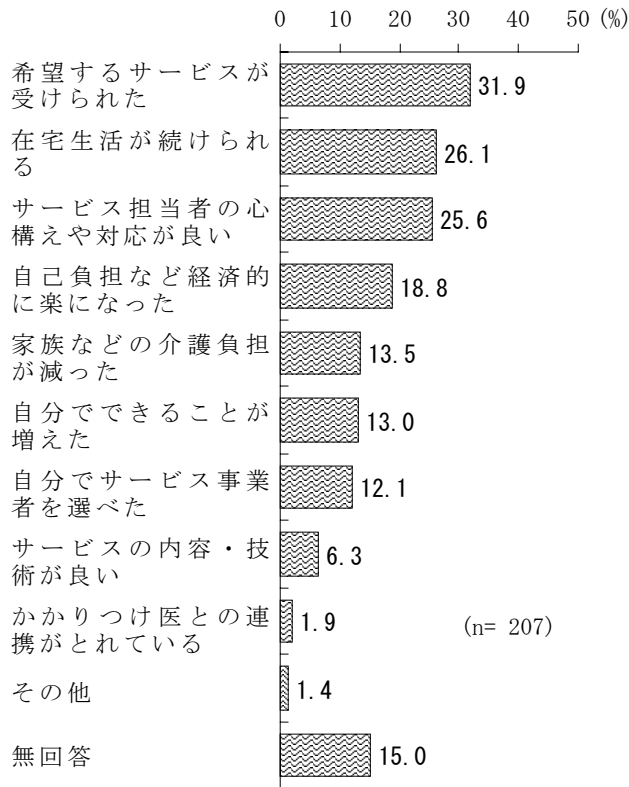


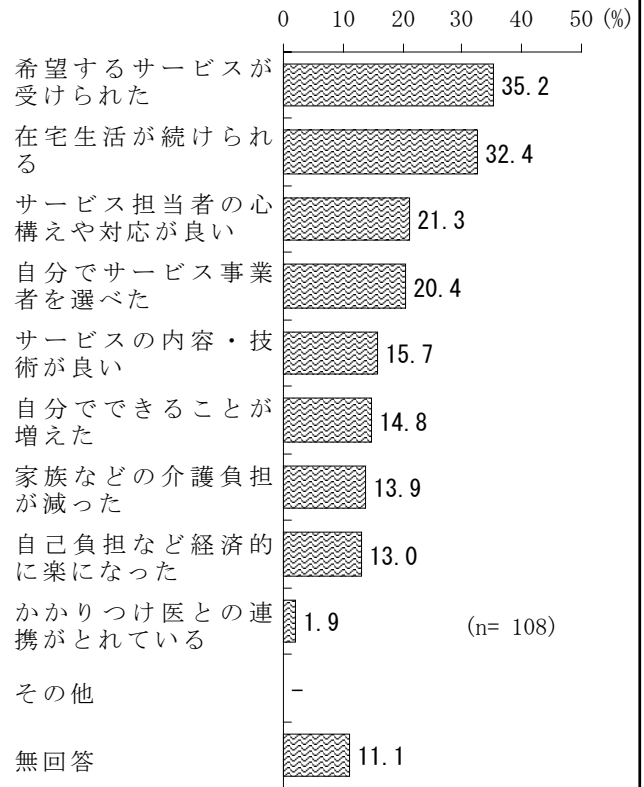


図2-17 満足している理由（つづき）

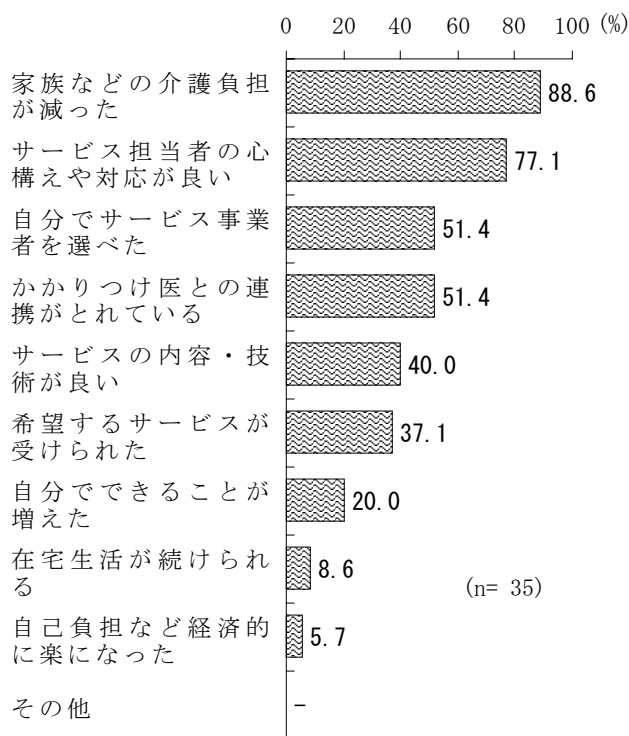
【福祉用具購入費】



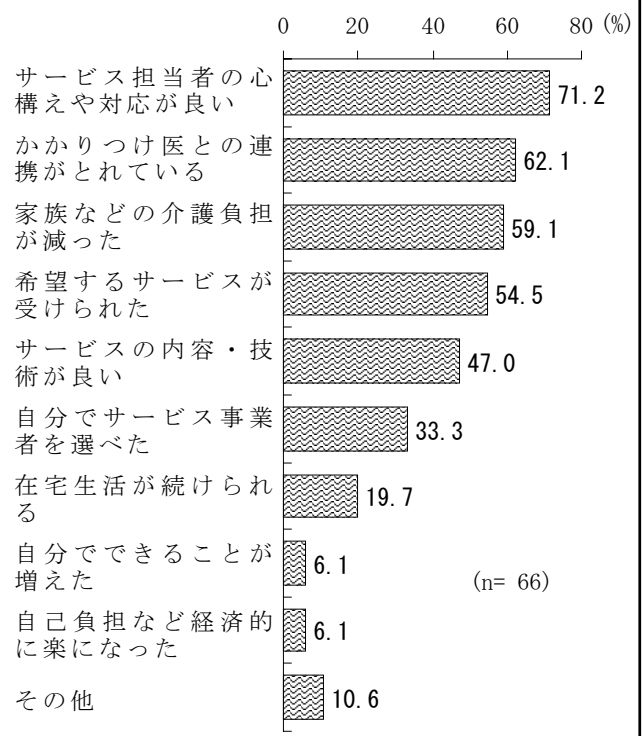
【住宅改修費】



【痴呆対応型共同生活介護】



【特定施設入所者生活介護】



満足度の高い介護保険サービスについて、その理由をみると、【訪問入浴介護】、【通所介護（デイサービス）】、【訪問介護（ホームヘルプサービス）】については、いずれも「サービス担当者の心構えや対応が良い」が最も多くなっている。

また、【訪問看護】については「サービス担当者の心構えや対応が良い」（50.6%）とともに「かかりつけ医との連携がとれている」（54.3%）が多くなっている。

【痴呆対応型共同生活介護】については「家族などの介護負担が減った」が88.6%で最も多く、これに「サービス担当者の心構えや対応が良い」（77.1%）が次いでいる（図2-17）。

2-10 満足していない理由

【問15で「やや不満足」、または、「不満足」を選んだ方におたずねします。】  
 問15-2 どのような点が「不満足」でしたか。利用している介護保険サービスそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。  
 （○はいくつでも）

図2-18 満足していない理由

【訪問介護（ホームヘルプサービス）】

【訪問入浴介護】

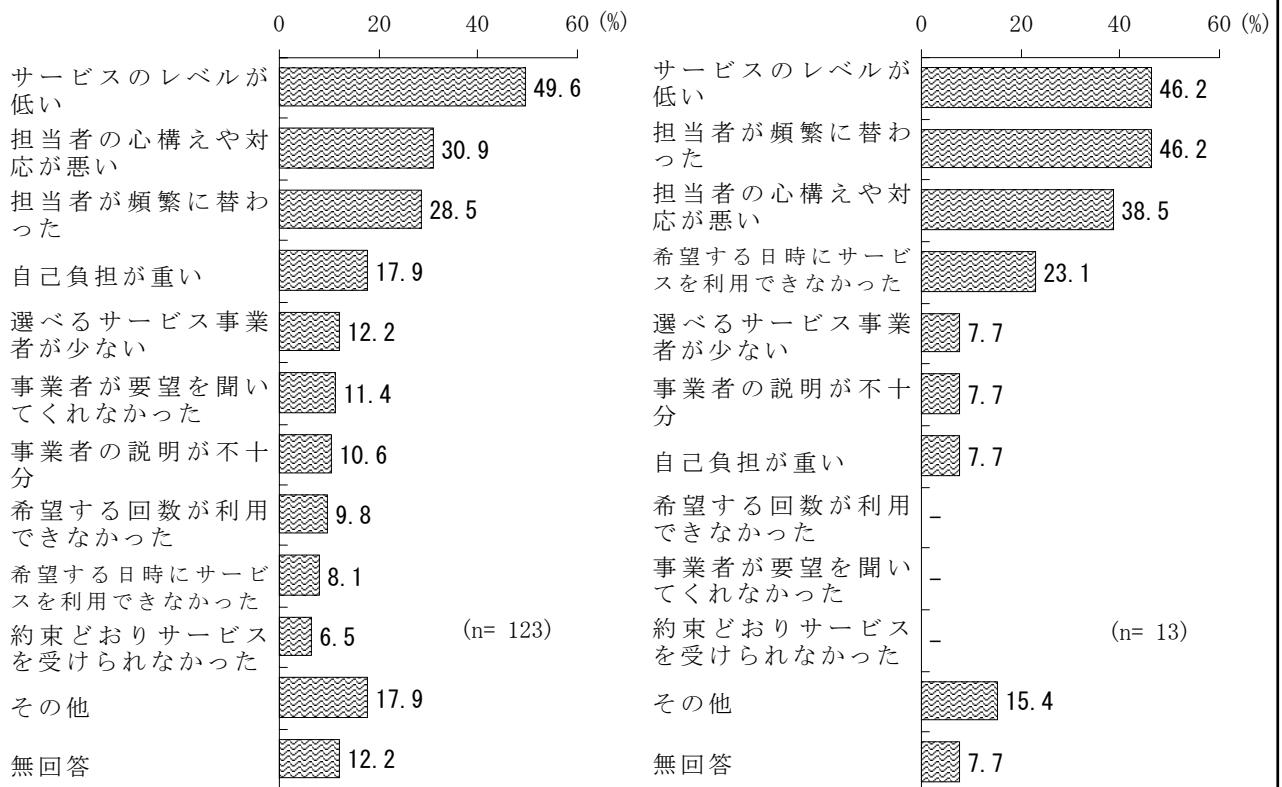
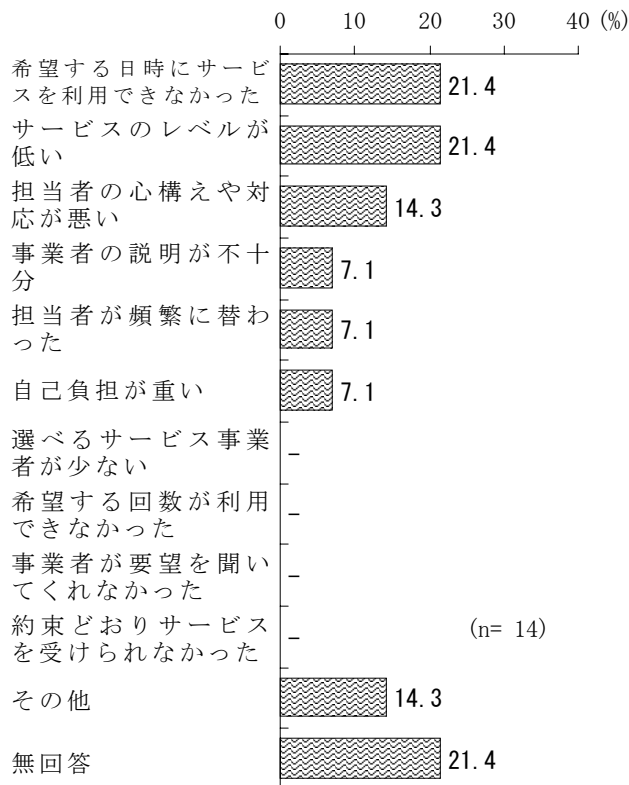
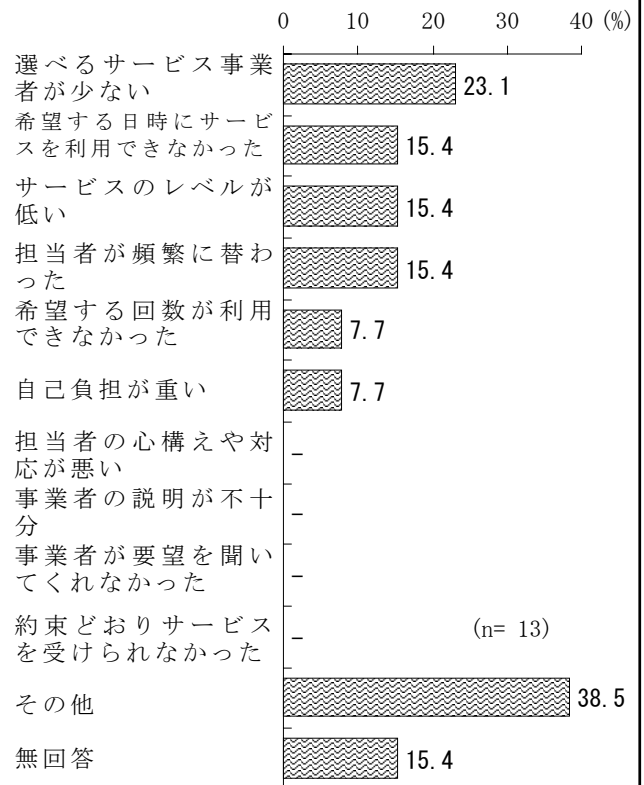


図2-18 満足していない理由（つづき）

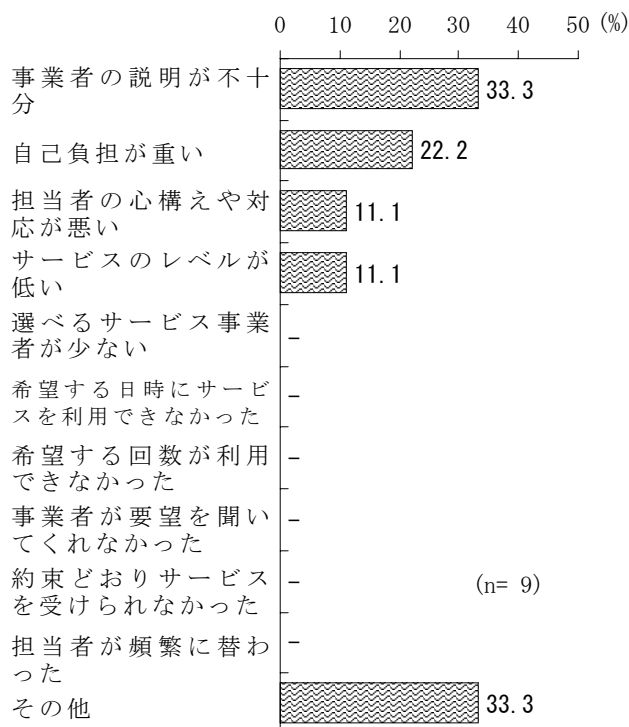
【訪問看護】



【訪問リハビリテーション】



【居宅療養管理指導】



【通所介護（デイサービス）】

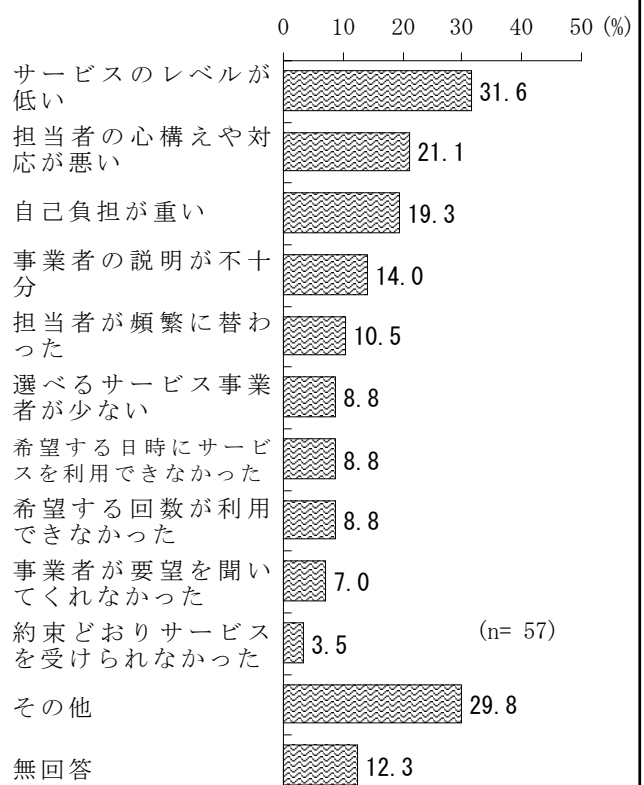
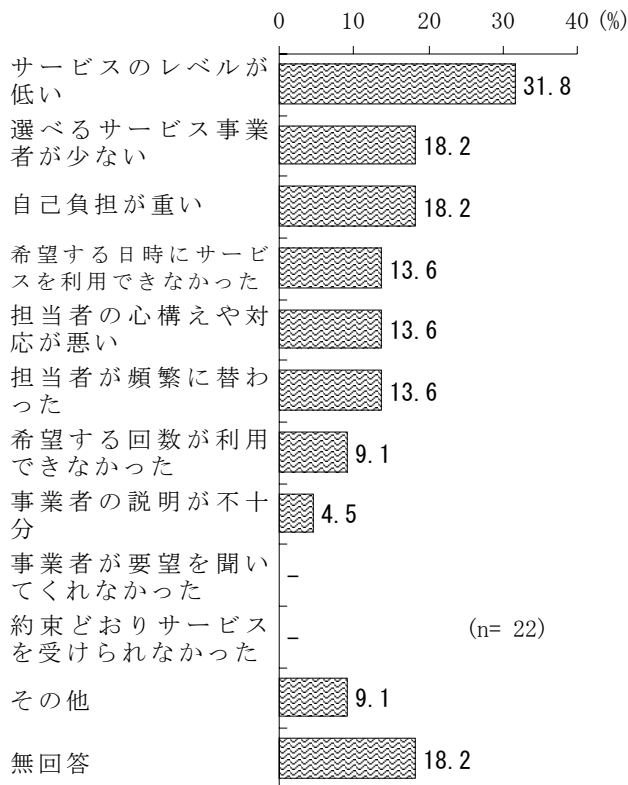
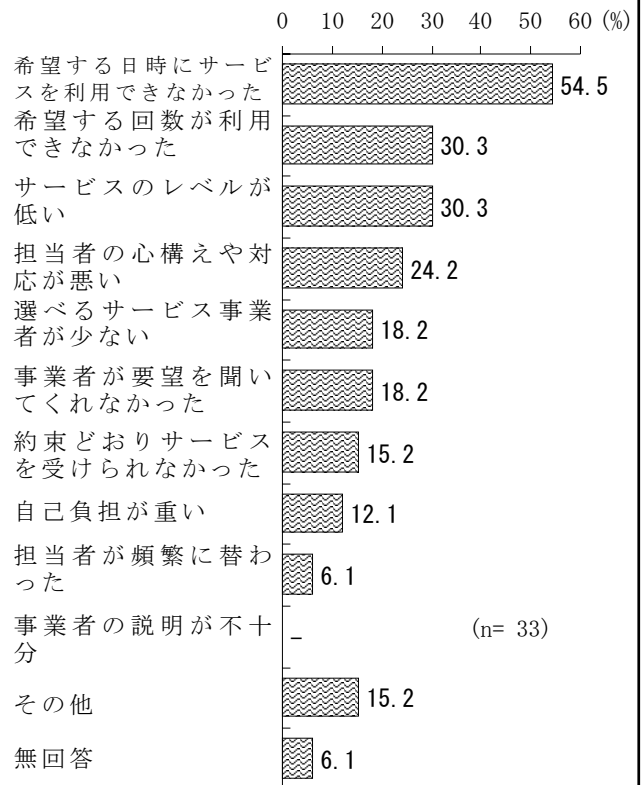


図2-18 満足していない理由（つづき）

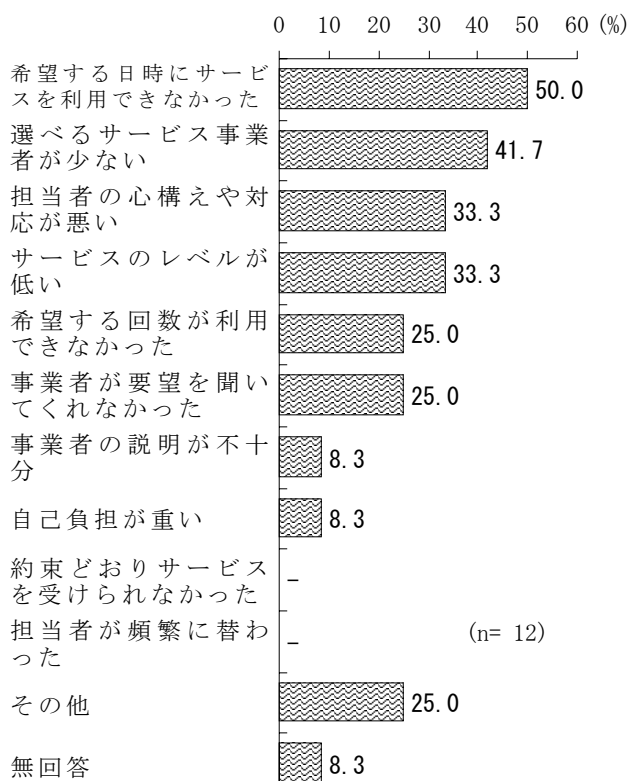
【通所リハビリテーション（デイケア）】



【短期入所生活介護】



【短期入所療養介護】



【福祉用具貸与】

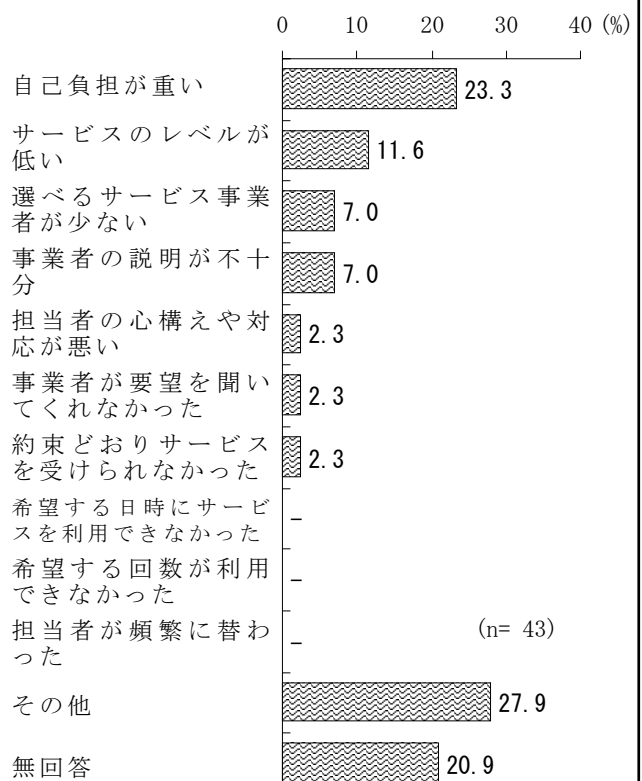
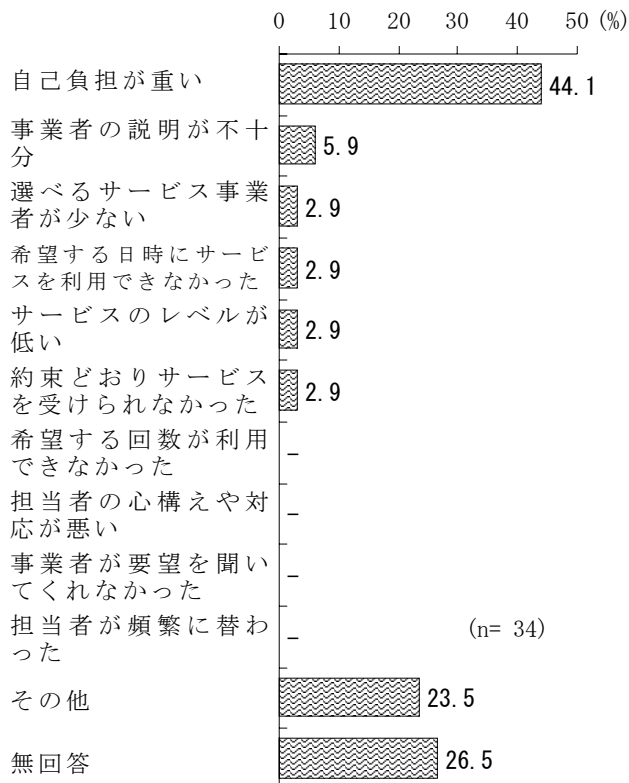
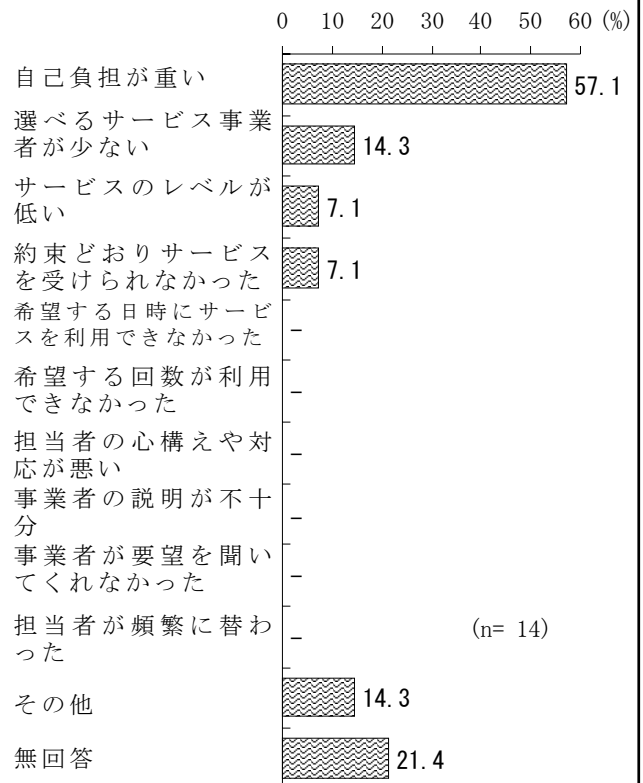


図2-18 満足していない理由（つづき）

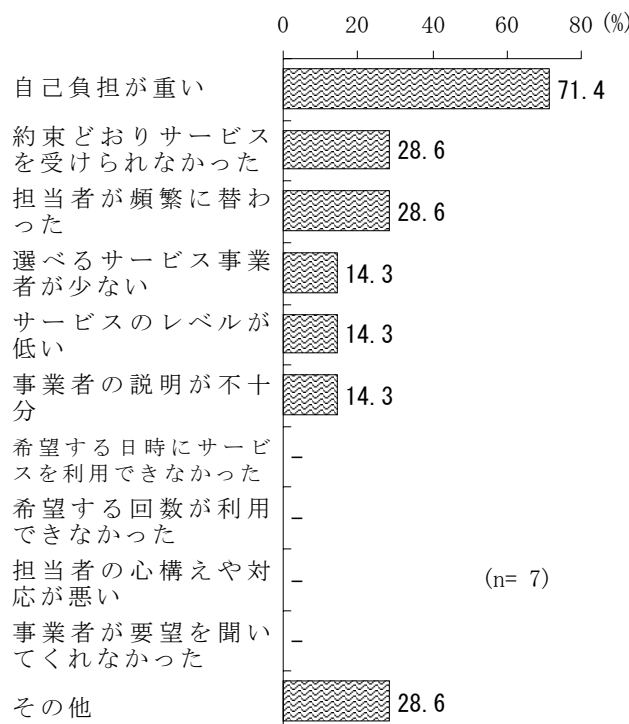
【福祉用具購入費】



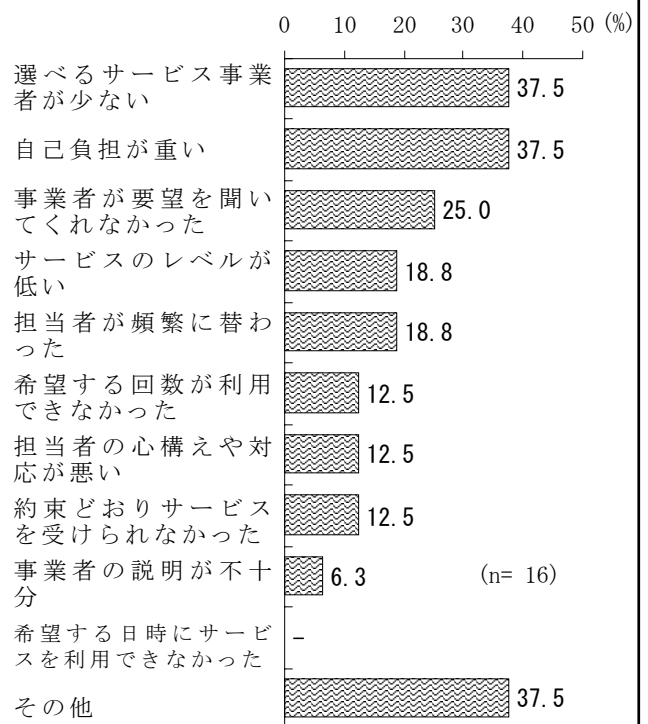
【住宅改修費】



【痴呆対応型共同生活介護】



【特定施設入所者生活介護】



## 介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

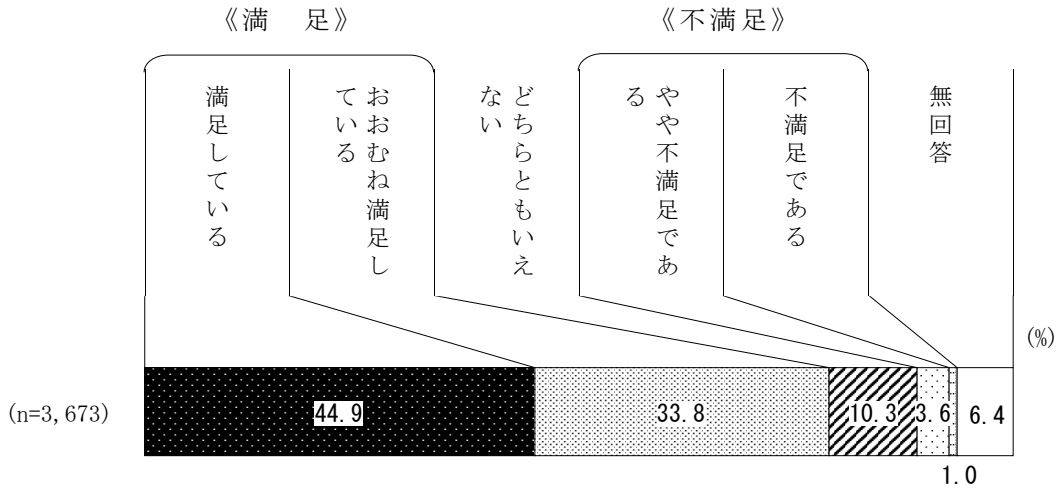
全体として、満足していない理由の回答者は少ないため、数値は参考としてみる必要があるが、不満度の高い介護保険サービスの理由をみると、【短期入所生活介護】については「利用する日時にサービスを利用できなかった」が 54.5%と過半数を占めている。

また、【痴呆対応型共同生活介護】については「自己負担が重い」（71.4%）が、【特定施設入所者生活介護】については「選べるサービス事業者が少ない」（37.5%）と「自己負担が重い」（37.5%）が多くなっている（図 2-18）。

2-11 ケアマネジャーの対応の満足度

問16 あなたは、介護保険サービスの内容（ケアプラン）を一緒に作ってくださるケアマネジャーの対応に満足していますか。（〇は1つ）

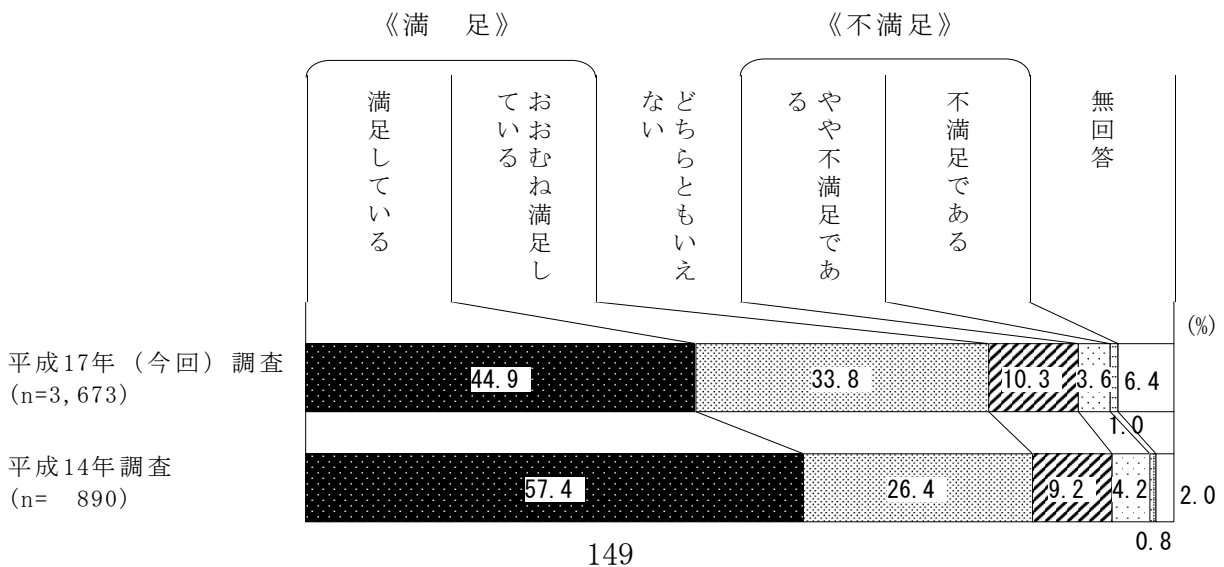
図2-19 ケアマネジャーの対応の満足度



ケアマネジャーの対応については「満足している」が44.9%で、これに「おおむね満足している」(33.8%)を合わせ、《満足》している人は78.7%と8割近くを占めている。一方、「やや不満足である」は3.6%、「不満足である」は1.0%である(図2-19)。

経年比較でみると、《満足》は前回調査(平成14年)より5.1ポイント減少している(図2-20)。

図2-20 経年比較 ケアマネジャーの対応の満足度





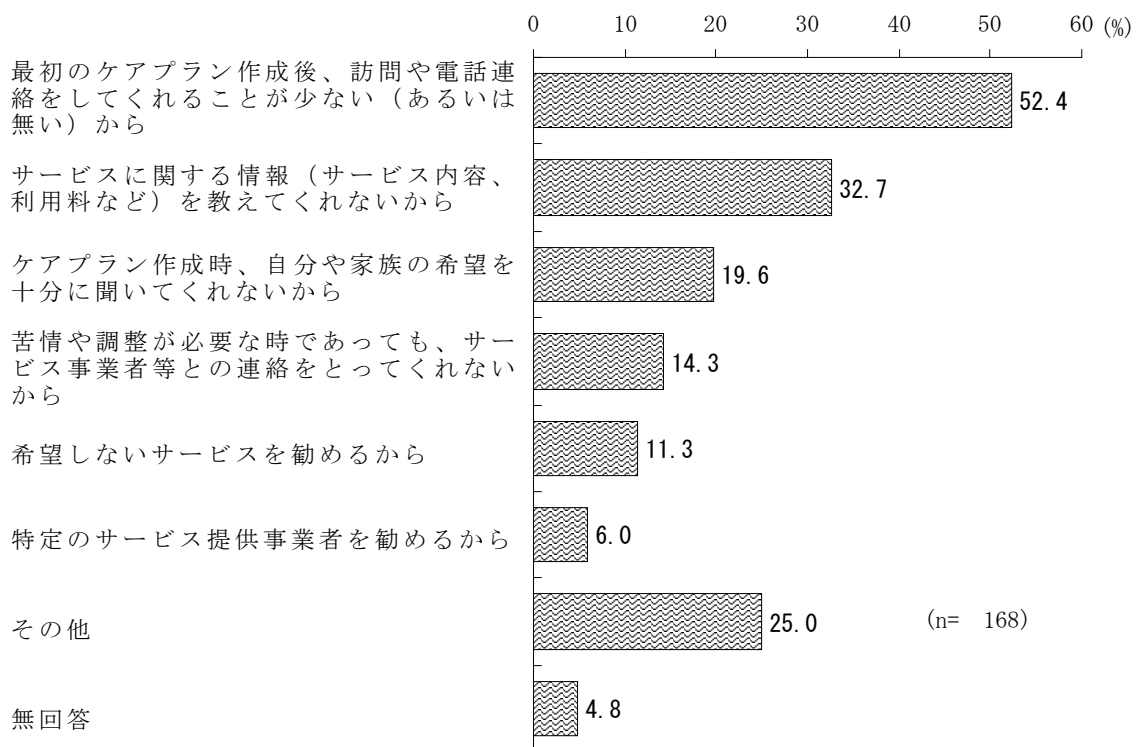
2-12 満足していない理由

【問16で「やや不満足である」、または、「不満足である」を選んだ方におたずねします。】

問16-1 あなたが不満足と感じる理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

図2-21 満足していない理由

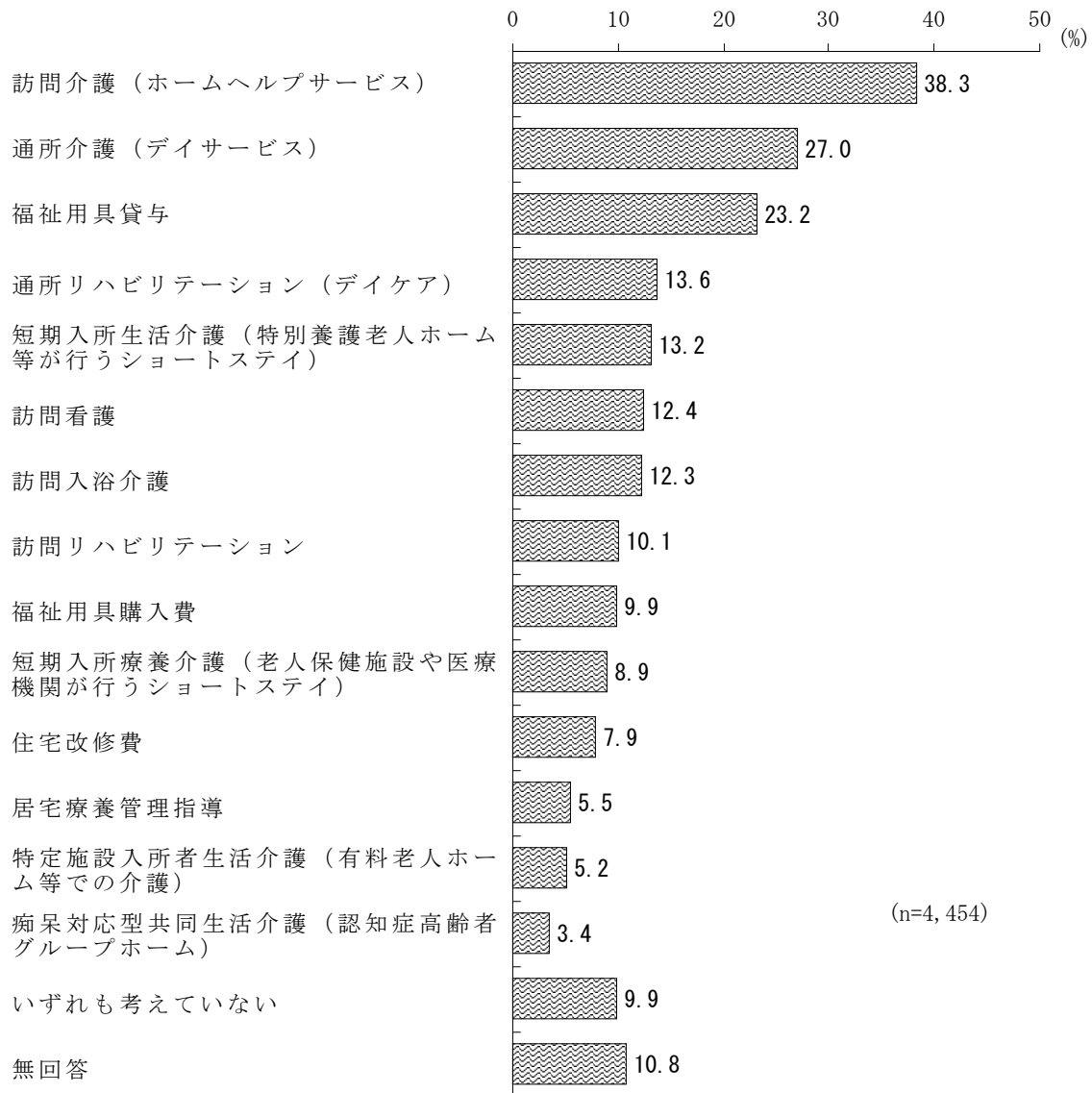


全体として、満足していない理由の回答者は少ないため、数値は参考としてみる必要があるが、《不満足》（「やや不満足である」「不満足である」）という人（4.6%）に、その理由をきくと「最初のケアプラン作成後、訪問や電話連絡をしてもらうことが少ない」が52.4%で最も多く、以下「サービスに関する情報（サービス内容、利用料など）を教えてくれないから」（32.7%）、「ケアプラン作成時、自分や家族の希望を十分に聞いてくれないから」（19.6%）の順で続いている（図2-21）。

2-13 サービスの利用意向

問17 あなたは今後1年間のうちで、以下のサービスを利用したいとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

図2-22 サービスの利用意向

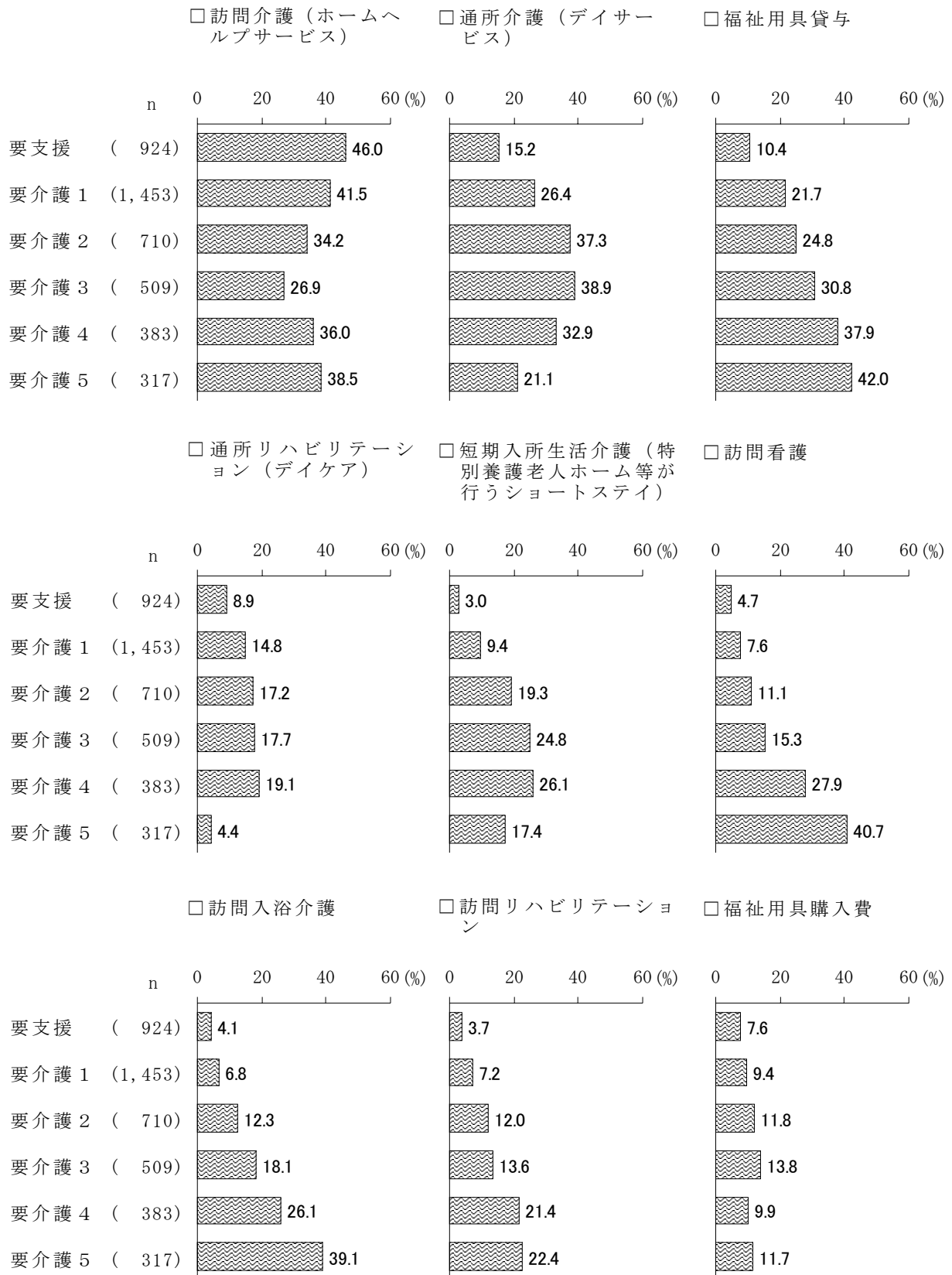


今後のサービスの利用意向をみると、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が38.3%で最も多く、以下「通所介護（デイサービス）」（27.0%）、「福祉用具貸与」（23.2%）の順で続いている（図2-22）。

要介護度別でみると、要支援、要介護1では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が、それぞれ46.0%、41.5%と多くなっている。

また、要介護度が高くなるにつれて、「福祉用具貸与」、「訪問看護」、「訪問入浴介護」は増加し、要介護5ではいずれも4割前後を占めている（図2-23）。

図2-23 要介護度別 サービスの利用意向（上位9項目）

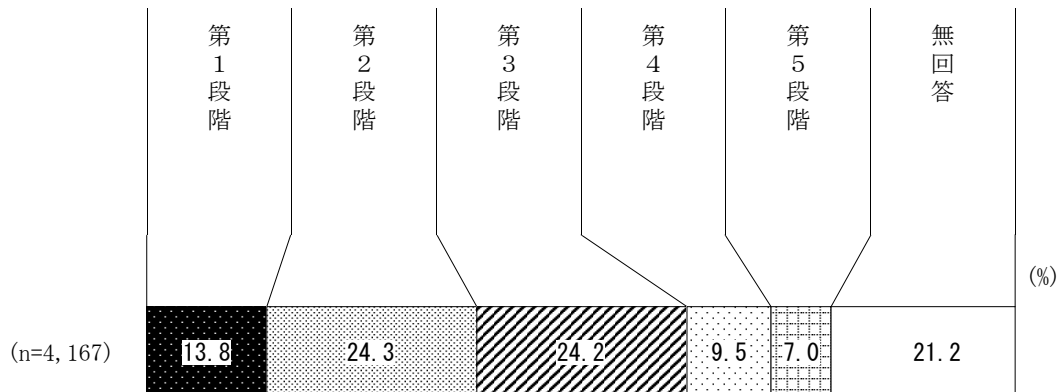


### 3. 介護保険料（65歳以上対象）

#### 3-1 介護保険料の段階

問18 あなたの介護保険料は、第何段階ですか。（○は1つ）

図3-1 介護保険料の段階



【平成16年度（年間保険料）】

第1段階：16,920円

第4段階：42,300円

第2段階：25,380円

第5段階：50,760円

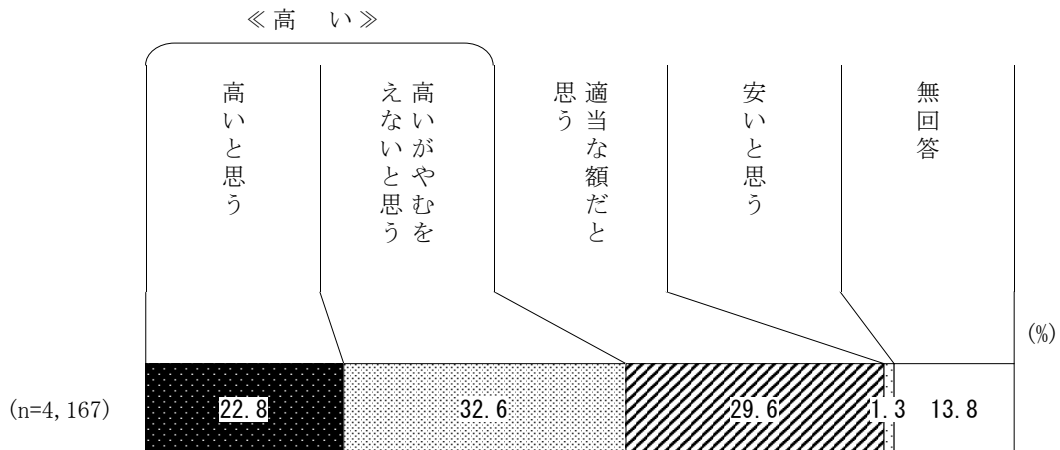
第3段階：33,840円

介護保険料の段階をみると、「第2段階」（24.3%）と「第3段階」（24.2%）が、他の段階に比べてやや多くなっている（図3-1）。

3-2 納付している介護保険料の意識

問19 あなたは、あなたが納めている介護保険料についてどのように感じていますか。（〇は1つ）

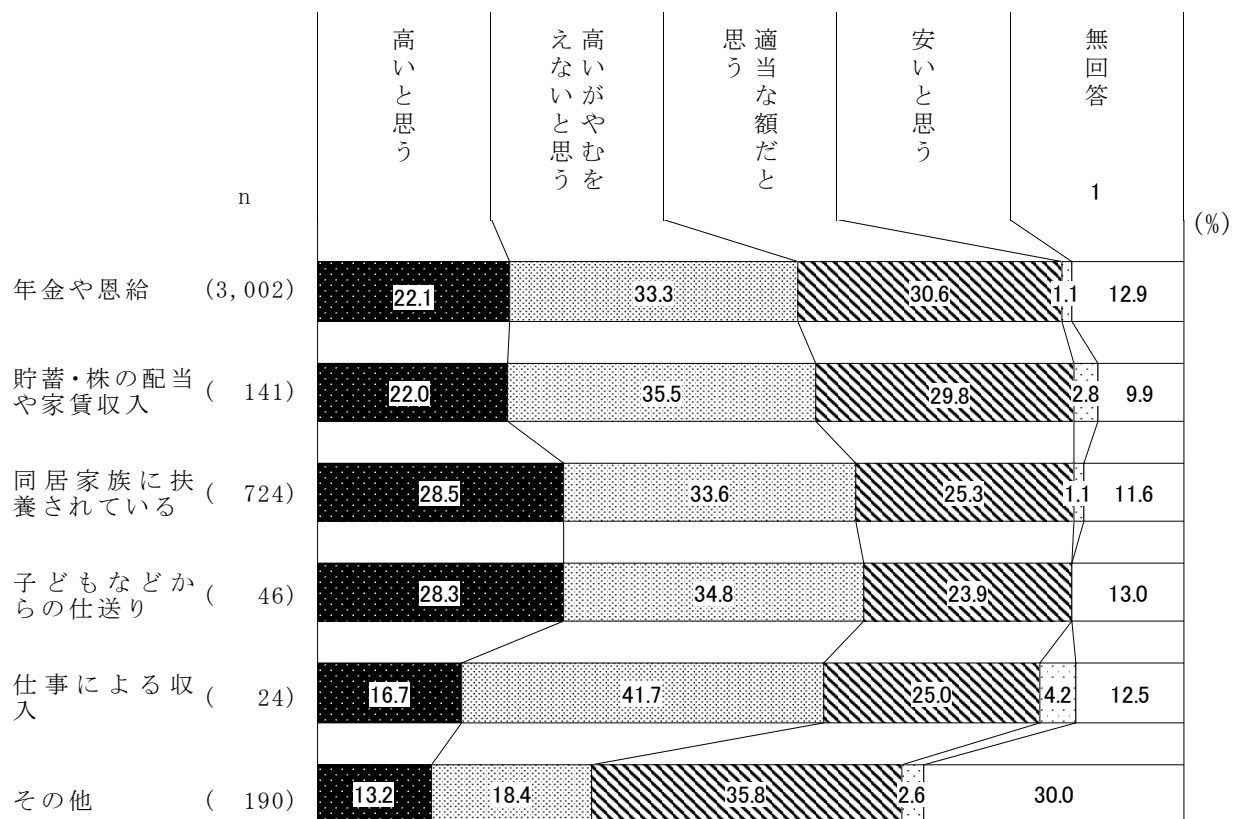
図3-2 納付している介護保険料の意識



納付している介護保険料については、「高いと思う」が22.8%で、これに「高いと思うがやむをえないと思う」(32.6%)を合わせた55.4%が《高い》との認識を示している。一方、「適当な額だと思う」は29.6%、「安いと思う」は僅か1.3%に留まっている(図3-2)。

日常生活費の収入源別で見ると、“同居家族に扶養されている”、“子どもなどからの仕送り”という人では、「高いと思う」がそれぞれ28.5%、28.3%と、他の収入源の人に比べてやや多くなっている(図3-3)。

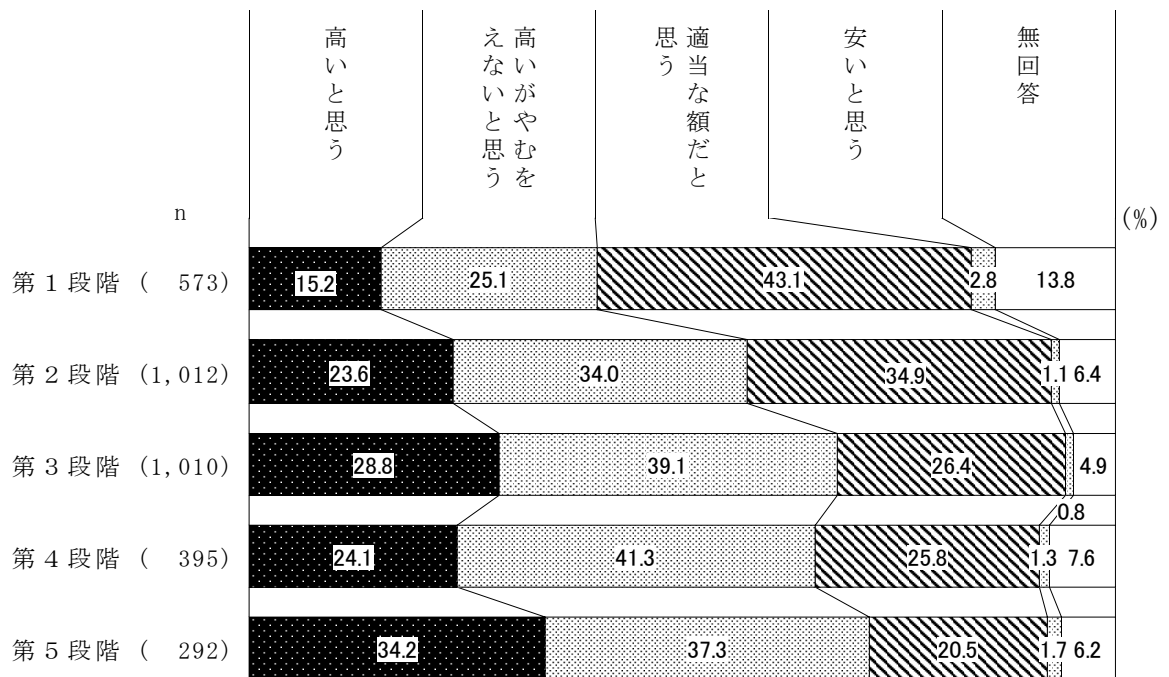
図3-3 日常生活費の収入源別 納付している介護保険料の意識



介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

保険料段階別にみると、「高い」（「高いと思う」＋「高いがやむをえないと思う」）は第1段階では4割だが、段階が進むにつれて増加しており、第5段階では7割を超えている。なお、「高いがやむをえない」はすべての段階で「高いと思う」を上回っている。一方、「安いと思う」はすべての段階でほぼ皆無である。また、「適当な額だと思う」は第1段階で4割だが、段階が進むにつれて減少し、第5段階では2割となっている（図3-4）。

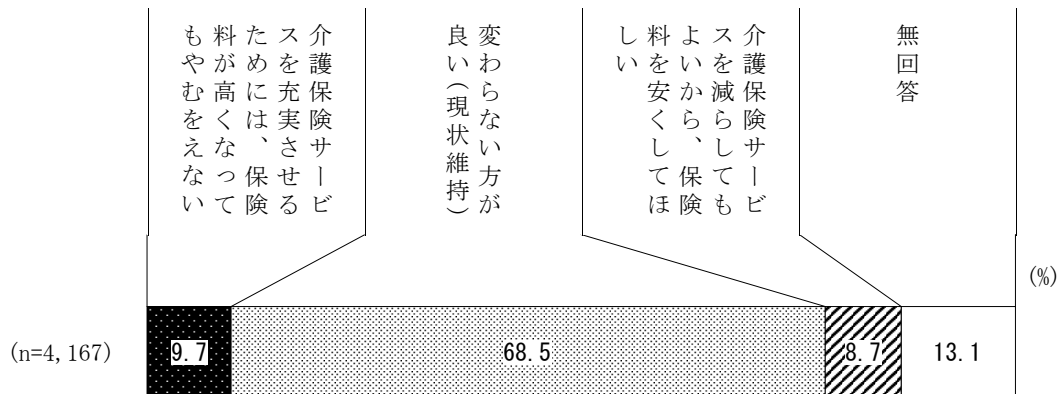
図3-4 保険料段階別 納付している介護保険料の意識



3-3 介護保険料の考え方

問20 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。（〇は1つ）

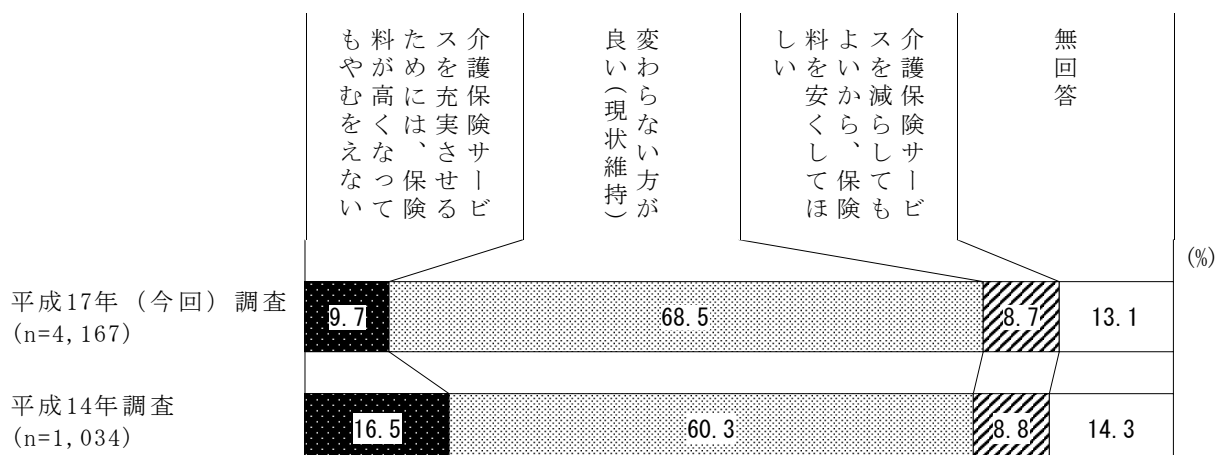
図3-5 介護保険料の考え方



介護保険料の考え方としては「変わらない方がよい（現状維持）」が68.5%と7割近くを占めている。一方、「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」は9.7%、「介護保険サービスを減らしてもよいから、保険料を安くしてほしい」は8.7%である（図3-5）。

経年比較でみると、「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」という人が前回調査（平成14年）より6.8ポイント減少して1割を切っており、現状維持を望む人が8.2ポイント増えている（図3-6）。

図3-6 経年比較 介護保険料の考え方



※平成14年度調査では、「保険料を多少高くしても介護サービスを充実したい」、「変わらず」、「保険料が多少安くなるなら介護サービスを減らしてもよい」という選択肢となっている